

7 - 3 地震予知研究計画にもとづく地磁気永年変化精密観測, (1982 年 4 月～6 月および 1982 年 7 月～9 月)

Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of Earthquake Prediction Research, April-June, 1982 and July-September, 1982

地震予知研究計画・地磁気研究グループ
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

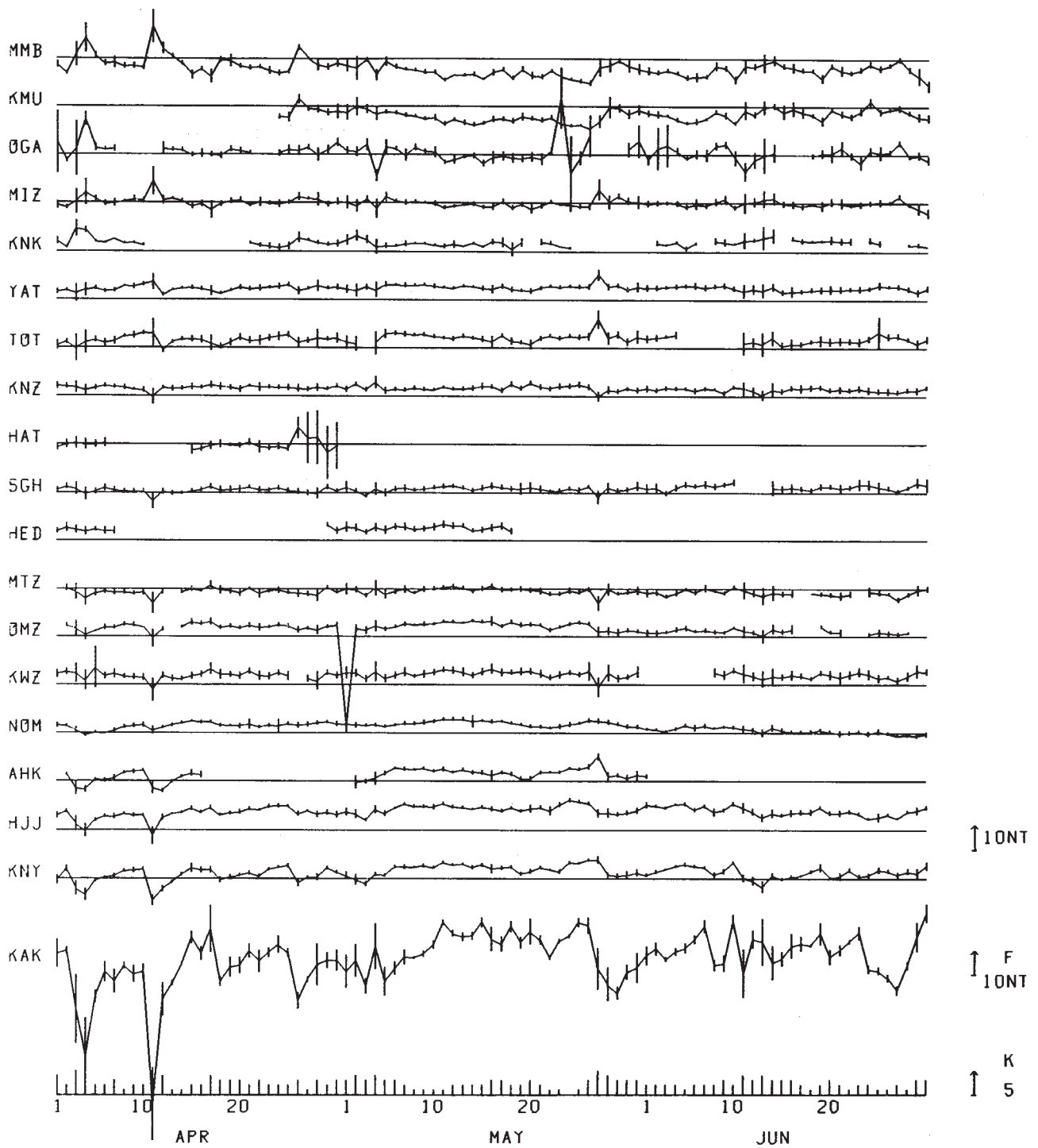
1982 年 4 月～6 月および 1982 年 7 月～9 月の観測結果をまとめて報告する。

第 1 図および第 2 図に、柿岡を基準とする各観点の全磁力夜間値差の日平均値および標準偏差（男鹿・金華山は 5 個，他は 15 個平均）を示した。各図の下段に対応する時間の柿岡における全磁力値および K 指数が示してある。なお，柿岡の全磁力値のプロットで，9 月 7 日はスケールアウトしているが，図に示したとおり横軸の下方 85nT に位置し，その標準偏差は 11.0 nT である。

前回報告した 1981 年 10 月から 11 月にかけて生じた八丈島の変動は，その後安定化した。ただし，1982 年 1 月以降のレベルは，1981 年 9 月以前のそれより約 8nT 高い。

DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

APR - JUN, 1982.

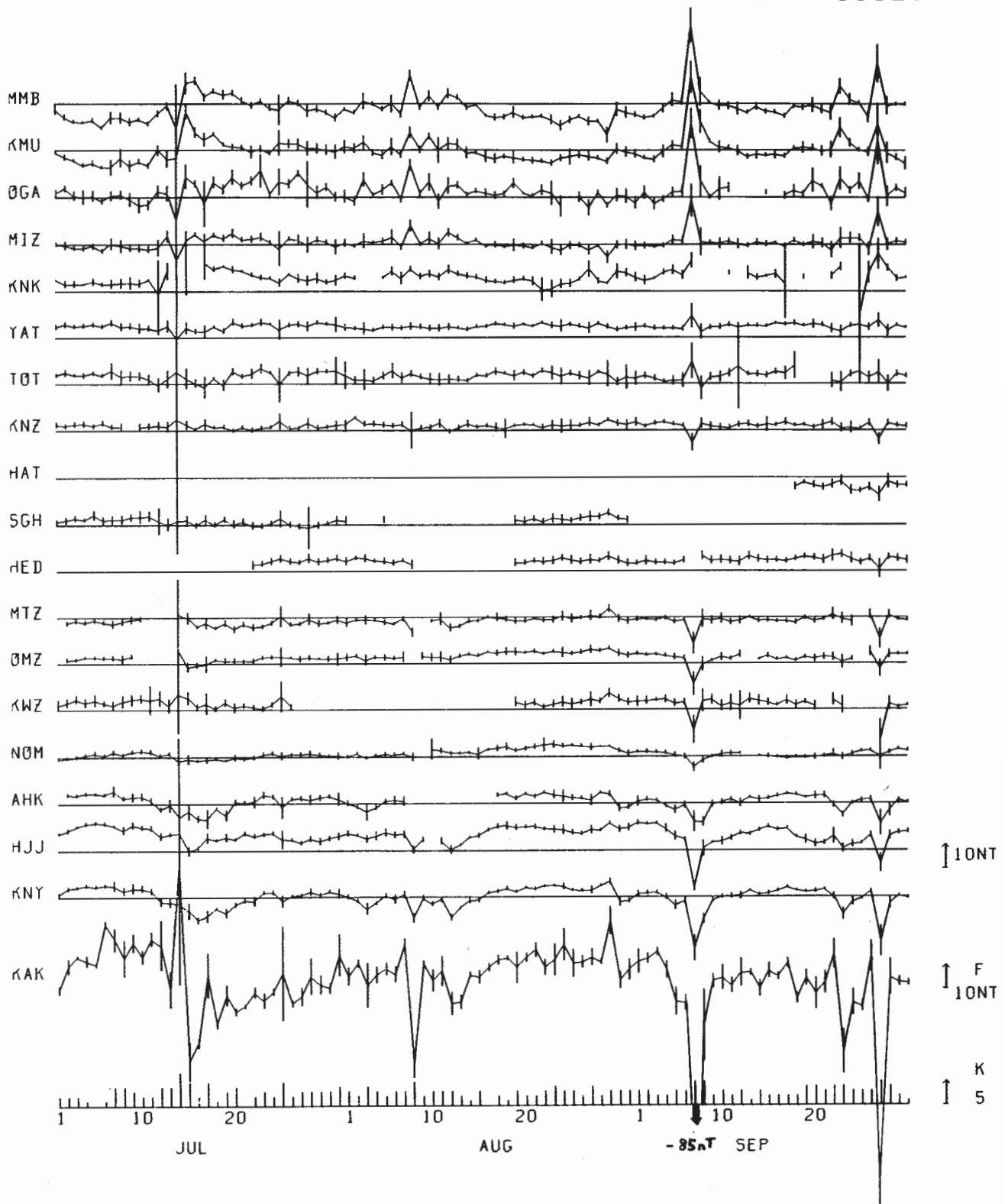


第 1 図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1982 年 4 月～6 月

Fig. 1 Day-to-day change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from April to June, 1982.

DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

JUL - SEP, 1982.



第2図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1982年7月~9月

Fig. 2 Day-to-day change of the difference of nighttime total force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from July to September, 1982.